

2010年第1回定例会
3月議会25日閉会

2010年度東海村予算賛成多数で可決

一般会計・9特別会計・2企業会計あわせて248億5876万円
一般会計 173億8500万円（日本共産党は反対）
後期高齢者医療会計 2億5303万円（ " ）



東海村の新年度予算が決まりました。日本共産党は、一般会計では駅ギャラリーとデマンドタクシー利用料の新たな住民負担徴収、議員の海外旅費、常陸那珂港整備負担金の支出に反対をしました。

後期高齢者医療会計では、制度の問題点は、必要な医療費なのに削減が目的、75歳以上の方々を年齢でも医療内容でも差別する、人数と医療費の増加により保険料があがるしくみなど重大であり、制度を即時廃止し、以前の老人保健制度に一旦戻して充実させるべきとして反対をしました。

委員会報告は

「中間報告」

自治基本条例調査特別委員会

25日の議案審議に自治特委員長から報告があったのは「中間報告」でした。

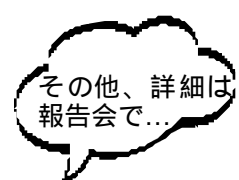
委員会が議会本会議に報告する条例

案文を確定するという日に傍聴しました。共産党は「議案になっていないのだから採決すべきでない」「藤田東湖を紹介した記述は削除すべき」「住民投票の住民の発議・請求権は残すべき」と主張しました。江田議員が同じく「採決すべきでない」と主張しましたが、委員長以下他の委員は「報告するためには全委員の一致がない限り、この報告書でいいのか採決するしかない、これは報告書の採決だから賛否を取るのあたりまえ」と、語気を強めていました。そして共産党が棄権をするなか完全に仕上げた委員会条例案が可決されました。その後、委員長自ら、果たして本会議で議決してよいものか疑問を持ち中間報告としたそうです。共産党は、「中間報告なら、委員会での採決はなかったことにすべきだ」と委員長に申し入れましたが、受け入れてもらえず、25日を迎えました。しかし、後の議会に村長から条例案が議案上程されたとき、また委員会が議会案と議案を同時に調査するのでしょうか。全く不規則な議会運営です。

日本共産党は、「村長から正式に諮問されていない、議案になっていない、後に議案としてあがってくるもの、村政に著しく混乱を招くものは、特別委員会を設置して調査・検討すべきでない」ことを主張しています。議長に提出する特別委員会報告は、本会議で必ず議決しなければならないからです。

村独自に小学校1年生の30人学級の実施など 春からの住民生活支援の新規&拡充事業

- *すべての妊産婦の医療費の自己負担分全額助成
- *保育料の一律10%引き下げ、減免範囲の拡大
- *1人親世帯の家賃補助引き上げ、保育所入所基準緩和、「友情の船」参加費助成など
- *小学校1年生の30人学級の実施
- *なかまる小学校体育館新設工事
- *後期高齢者医療保険料のサポート（助成）事業
- *障がい者雇用の分野にとりくむ
- *中小企業振興を目的に(仮称)東海村中小企業元気アップ懇談会」の立ち上げ
- *観光PRの強化
- *駅東西駐輪場に防犯カメラの設置
- *「災害時要援護者避難支援計画」の策定
- *特定不妊治療県助成受給者への村助成
- *第5次総合計画のとりまとめ、議会上程
- *太陽光発電システム設置補助台数の拡充
- *村独自に安全安心農産物認証制度を創設
- *第3次東海村男女共同参画行動計画の策定
- *農業委員会で遊休農地の利用状況の調査
- *耕作放棄地解消策として再生事業にとりくむ



ご報告

今議会では代表質問を行いました。問答の骨子のみですがご報告いたします。

1. 予算配分の充実（商工・農業予算の引き上げ及び福祉40%をめざしては）を！

（答）農・商工...比率は低いが事業は積極的にとりこんでいる。村政の4本柱は力を入れている。40%という根拠がわからない。

2. 「原子力センター」重視だけでなく、原子力対策課の位置づけ強化と充実を！

（答）「原子力センター」はある意味推進、原対課は規制の役割を果たす部署。推進と規制の機能分離は村長としての持論。原対課を後退はさせない。人的拡充は難。

3. 高齢者の医療費無料化・軽減策について新年度検討開始を！

（答）2010年度検討は開始する。新高齢者医療制度策定の動向もみたい。

4. 集中改革プランに位置づけた地域改革の関係は？住民も行革に協力させるのか。

（答）住民主導でまちづくりを進めるなかで役場の改革も行うという意味。

5. 子ども手当財源のための扶養控除廃止の影響は？

（答）扶養控除該当者は所得税負担増。個人住民税は一律10%の税負担発生。連動し影響するのは、国保税、介護保険料、保育所保育料、障害者自立支援法の自己負担、母子・父子マル福制度など。子ども手当支給2011年度からについては、新法が決まってから。

6. 遊休農地利活用対策テスト事業の実績・評価・課題は？

（答）09～11年度の期限。35a作付け、650kg収穫、190kg搾油。刈取、菜種のゴミ取、搾油全て委託。コンバインの確保難。搾油器確保難。菜の花作付けは農家でも困難という評価が高いのでは。



7. ファーマーズマーケットの集客課題解消のため組織を立ち上げては？

（答）オープン9ヶ月。オープン時、干し芋販売期は混んだ。昨10月からJAひたちなか、村中心に活性化のための会議を開催。様々な立場の人を参加させて研究する。

8. 駅東区画整理終結に、要求の高い保留地を活用した村営駐車場の設置を位置づけては？

（答）駅東区画整理事業の終結に向け、駐車場設置の方向性は持ちたい。

9. 相談室情報提供で近隣市町のパート募集情報も加えては！

（答）相談室情報提供コーナーに、本村情報と一緒に提供するように対応する。



10. 駅村側階段の滑り止めの強化、歩道街灯の照度を上げて！

（答）滑り止めは検討し対応する。照明は照度が落ちていた。照明の種類を変えて照度を上げるなど対応し、誰もが快適に安心して歩くことできる道路等めざす。